

情報基礎演習 2018

— 自学自習に配慮した情報系演習科目の教科書 —

京都大学 喜多 一、北村由美、日置尋久、酒井博之

概要: 本教材は京都大学で全学共通科目として実施されている「情報基礎演習」の教科書 2018 年度版である。同科目は ICT スキルの養成を担う科目として、多くの学部の学生が受講しており、本教材は主に文科系を対象に作成されているものであり、授業と授業時間外の学習の円滑な実施を意図して自学自習が可能なように配慮して編集されている。

1 教科の目標

本教科書は京都大学の全学共通科目情として実施されている「情報基礎演習」の教科書 2018 年度版である。同科目はいわゆるコンピュータリテラシーを中心に ICT スキルの養成を担う科目として実施されており、多くの学部の学生が受講しており、理工系学部では Linux や LaTeX など扱っているが、本教科書は文科系の学生を主な利用者に Office ツールの利活用を取り上げている。

同科目の目標は以下の 3 点に設定されている：

- 1) アカデミックな活動に必要な ICT スキルの獲得
- 2) 自立した ICT ユーザとなること
- 3) ICT スキルを自主的、継続的に獲得する自学自習能力の獲得

このうち 1) については、大学でのレポート作成など学術的な用途に絞って Office ツールの利用法を解説している。2) については、ノート PC の個人所有や、自宅でのネットワーク接続にも配慮して、OS やネットワークについて説明している。

扱う内容は、授業中、授業外学習の両方を支援するため、教科書を参照しながら各自で演習に取り組めるように執筆されており、目標 3) も意識して多めの内容を取り上げている。

2 教科書の構成

本教科書は以下の各章で構成されている

0. まえがき
1. この授業の目的、評価基準、進め方
2. コンピュータの基礎
3. ネットワークの基礎

4. 知的生産について
5. 学術情報の探索
6. 表計算ソフトによるデータ処理 (1)
7. 表計算ソフトによるデータ処理 (2)
8. 表計算ソフトによるデータ処理 (3)
9. 構造化された文章の作成
10. 文書への図表の挿入
11. 文章での数式の扱い
12. プレゼンテーションについて考えよう
13. プログラミングの基礎
14. あとがき
 - 付録：略語集
 - 付録：評価基準

このうち、5. は大学図書館の利用を、6.~8. では、表計算ソフトによるデータ入力と集計、シミュレーション、グラフの作成を扱っている。また略語集は略語が頻出する ICT 領域の略語について説明し、評価基準では自身の達成状況を自己診断することも意図してループリック形式の評価基準を掲載している。

3 公開と英訳

同教科書は学生にオンラインで配布するとともに、クリエイティブコモンズライセンスを付与して以下の URL で公開している。また、同科目の英語での実施にも配慮して英訳版も作成している。

https://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/bitstream/2433/235756/1/Version%202018_12_25.pdf